

1. 授業の概要(ねらい)

○中国史の背景としての政治思想

この授業では、古代から近代に至る中国歴代の政治思想の歴史上の変遷について学習します。

中国では早い時期から、政治の方法や君主と臣下の関係などについて盛んに議論されてきました。中国思想の特徴は、抽象的な議論に終止せず、常に現実社会の問題と密接に結びついていたことにあります。歴史事件の背景にある思想を知ると、暗記中心だった歴史の学習がもっと楽しく、もっと意義深いものとなるでしょう。

後期では、北宋時代から清朝滅亡までの時期の政治思想を、それぞれの時代に存在した具体的な政治上の問題と絡めて分析してゆきます。

2. 授業の到達目標

☆1: 中国の歴史上登場した様々な思想について理解できるようになる。

☆2: 歴史上の出来事とその背景にある政治思想を結びつけ、歴史について多角的に考える能力を獲得する。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト(30%・LMS上で授業の理解を問う課題を出題します)・授業内試験(70%・最終回に行います)によって評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを配布します。

参考文献

授業で扱うテーマが多岐にわたるので参考文献はその都度ご紹介しますが、全般に関するものとしては以下をおすすめします。

・湯浅邦弘編著 『概説中国思想史』 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

授業でお配りするプリントをよく読み、復習によって知識の定着につとめてください。

「政治思想史」というテーマである関係上、話がどうしてもマニアックな方に流れがちです。中国史の学習経験がない方の履修も想定しておりますが、ある程度中国史の流れを把握しておくことより楽しく学ぶことができます。陳舜臣・手塚治虫監修『中国の歴史』(八王子市図書館等所蔵、古書でも安く出回っています)がマンガで読みやすく、内容もかなりしっかりしていておすすめです。

6. その他履修上の注意事項

私語など一緒に授業を受ける仲間の集中を削ぐ行為はなさらないでください。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス: 前期授業のおさらい・授業概要説明(対面授業)

【第2回】 北宋の政治思想—おそるべき科挙の世界(対面授業)

【第3回】 北宋から南宋へ—エリートの自己主張で王朝滅亡(対面授業)

【第4回】 朱子の生涯(1)—働いたら負けだと思っている(対面授業)

【第5回】 朱子の生涯(2)—すぐめんどくさいおじさんはどうして生まれたのか(対面授業)

【第6回】 朱子学の理論体系(1)—君も聖人になれる!(対面授業)

【第7回】 朱子学の理論体系(2)—聖人になるための修行にのめり込む若者たち(対面授業)

【第8回】 世界の中の朱子学—どうして世界中の人々が朱子に夢中なのか(対面授業)

【第9回】 元の興亡—最強の騎馬軍団はなぜ敗れたのか(対面授業)

【第10回】 明の統治と経済政策—銀に呑み込まれた王朝(対面授業)

【第11回】 陽明学とは何か—王陽明と異端児・李卓吾(対面授業)

【第12回】 清朝の中国統治—飴と鞭の使い分け(対面授業)

【第13回】 西洋近代文明の衝撃—近代、そして現代へ(対面授業)

【第14回】 後期総まとめ(LMS配信)

【第15回】 授業内試験とその解説(対面授業)

※各回の内容には、授業の進行ペースや皆さんの関心の傾きに応じて調整を加えることがあります。